

2023年6月29日

松谷清議員

## 1. 市長の政治姿勢について

### <松谷議員 質問>

議会初日に難波市長は所信において第4次総を「発展的に継承する」としながら不十分な点として時代認識、市政運営、人口減少の分野を示し、共創と根拠と共感に基づく政策執行により温かい市政を推進することを表明しました。一方で就任後にただちに行ったことは、選挙で共産党の皆さんを除く全会派の皆さんからの支援を受けながらも、選挙が終われば「ノーサイド」、闘った鈴木候補や山田候補と対話を行い、社会の大きな力を支える市民自治に根差した静岡市政に踏み出したものと受け止めています。

既に多くの方から市長の政治姿勢について質疑がなされ重なる論手もありますがご容赦願います。私も緑の党の立場で伺います。

国政における議院内閣制と地方自治体の二元代表制という民主主義制度について伺います。国政は議院内閣制、つまり首相を国民は選ぶことができず、首相を選ぶ側が与党、反対が野党になります。地方政府はこれと異なり、市民は市長と議員をそれぞれ直接選び、リコールもできる、そして市長と議会は相互にけん制しあう二元代表制になります。とかく選挙を応援したんだから応援した議員・議会党派と事前に調整しろ、となりがちです。果たしてそれが市民自治を土台とする二元代表制の在り方でしょうか。初日に自民党の繁田議員から「私たちは政権与党」と自治体が議員内閣制であるかのように誤解される発言がありました。議院内閣制と異なる二元代表制における市長と議会の役割、その関係性をどのように捉えているか、伺います。

### <市長 答弁>

私からは、市長の政治性のうち2つの質問についてお答えをいたします。

まず、議員・内閣制と異なる、二元代表制における市長の役割と議会との関係についてですが、国政における議員・内閣制では、内閣総理大臣は国会に対し責任を負いますが、市政における二元代表制においては、市民が市長と議員をそれぞれ選挙で選出することから、どちらも市民に対し責任を負うという違いがあります。議員は、住民の皆様や社会の声をお聞きし、その声を住民に代わってあるいは代表して議会に届け、議事に携わり、議会は市政運営に必要な条例や予算などを議決し、市政に実行させ、監視するのが大きな役割です。

一方、市長は議会と対等の関係にあって、行政執行の責任者として、住民の皆様や社会の声をお聞きし、議会の議決等を踏まえ、社会にとって望ましいあらゆる政策・施策取組を実現していくことが役割だと考えます。2件大予選における議会と市長は、代表としての役割の違いを認識した上で、市民からの信託に応えるため、市政運営の両輪としてそれぞれの職責を果たしていくのが基本の関係だと認識しております。

市長や議員は選挙によって市民から信託を受けますが、市民や社会には多様な考え方や価値観がありますので、選挙で選ばれた市長、議員にも多様な考え方や価値観があるのは当然必然と言えます。市政運営においては、そのような考え方や価値観の多様性の存在を認めた上で、議会などで各々の考え方などを述べ合い、是非非で議論が交わされることが大事だと思います。このことから、市長と議会は、必ずしもお互いに牽制し合うという関係ではな